

花の園

作詞・作曲 篠田さやか

編曲 デルタミル

足を踏み入れればほら 幻と見まごうような
見渡す限り一面の花だらけ
一夜（ひとよ）限りの夢でも 限られた時の中で
楽しめばいいじゃない ここに来たのなら

その瞳に 射抜かれたら 足を止めずにいられない
重ねた手 合わす肌 すべてが現実のものになって ゆくよ

季節は春の 肌寒い夜
人恋しくなったらおいで
今日を生きる 今を生きる
花一輪胸に抱いてさあ
春は一瞬で過ぎ去るけれど
胸に抱いた花は永遠（とわ）に
咲き誇る 美しく あなたが望むすべてが叶うの
みんな 抱きしめてあげる ぎゅっと

未来が不安になって 足を止めた時もほら
変わらぬ花園がここにある だから
息の詰まる服なんて すべて脱ぎ捨てればいい
楽しめばいいじゃない ここは花だらけ

その瞳で 誘われたら もう待ってなんかいられない
その唇 その柔肌 そのすべて手に入れて笑ってよ

今宵 季節は春の 肌寒い夜
人恋しくなったらおいで
今日を生きる 今を生きる
強かな花が咲き乱れる

春は一瞬で過ぎ去るけれど
同じ春は二度とないのさ
熱い肌 燃えるような
永遠に続く一瞬をあげるよ きっと
季節変わっても ずっと 花は咲き誇る